

定住自立圏構想

中心市宣言書



平成28年6月28日

宇和島市

中心市宣言

宇和島圏域は、愛媛県西南部に位置し、西は宇和海のリアス式海岸が創り出す美しい景観が続き、南は黒潮踊る太平洋を望みます。東側には1,000m級の鬼ヶ城連峰がそびえ、日本最後の清流と呼ばれる四万十川の支流である広見川をはじめとする豊かな清流と森林、溪谷美に恵まれています。

明治11年、郡区町村編制法の愛媛県での施行に伴い、宇和島を含む北宇和郡と、現在の愛南町にあたる南宇和郡が発足して以降、本圏域は歴史的背景や地理的な要因から、深いつながりを持ちながら発展してきました。昭和48年には、宇和島地区広域事務組合が設立され、消防、廃棄物・し尿処理、老人・児童福祉施設など多岐にわたる事務を宇和島市・松野町・鬼北町・愛南町の4市町が共同で処理しています。

本市を含めた圏域市町では、それぞれが活力ある地域づくりを実現するために様々な取り組みを推進してきました。しかしながら、圏域全体で人口減少が急速に進んでおり、平成27年国勢調査(速報値)では約114,000人と、平成17年国勢調査と比較して約19,000人、14.3%の減少となっています。

急激な人口減少は地域コミュニティの衰退をはじめ、地域社会の活力低下とともに経済規模の縮小による社会生活サービスの低下を招き、更なる人口流出を引き起こしてしまう悪循環に陥る危険性をはらんでいます。

国の地方創生の推進により、各市町が「地方版総合戦略」を策定し人口減少対策に取り組んでおり、様々な分野において連携を深め、それぞれ地域の魅力を生かしながら、圏域全体の一体的な機能強化を図ることが必要とされています。

そこで、本市は「定住自立圏構想」を掲げ、圏域3町との連携・協力関係を尊重しつつ、圏域の中心市として都市機能の充実を図ります。また、人口減少対策に取り組み、まち・ひと・しごとの創生と好循環の実現を目指すとともに、共通課題の解決と圏域の活性化を推進していくことを、ここに宣言します。

平成28年6月28日

宇和島市長 **石橋 寛久**

1 宇和島市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、商業・娯楽機能、教育・文化機能、その他行政及び民間分野における都市機能の集積状況は概ね以下のとおりである。

分野	施設名等	施設名	摘要
医療・福祉	総合病院 保健所 児童相談所 福祉拠点施設	市立宇和島病院 市立吉田病院 市立津島病院 徳洲会病院 JCHO宇和島病院 愛媛県宇和島保健所 南予児童相談所 宇和島市総合福祉センター	
教育	大学 高等学校 中高一貫校 職業訓練 専修学校 各種学校等	環太平洋大学短期大学部 県立宇和島東高等学校 県立宇和島水産高等学校 県立吉田高等学校 県立三間高等学校 県立津島高等学校 県立宇和島南中等教育学校 県立宇和島高等技術専門校 宇和島看護専門学校 宇和島商業専門学校 宇和島文化女子専門学校 宇和島美容学校 南愛媛医療アカデミー	
文化スポーツ	体育施設 図書館	総合体育館 丸山運動公園 中央図書館 吉田町図書館	
商業	大型商業施設	19施設	1,000 m ² 以上
交通	ターミナル駅	JR宇和島駅 宇和島バスセンター 宇和島港	
行政	国の機関	宇和島税務署 宇和島法務局 松山地方裁判所宇和島支部 松山地方検察庁宇和島支部	

	県の機関	宇和島労働基準監督署 宇和島公共職業安定所 宇和島海事事務所 宇和島海上保安部 南予地方局 愛媛県水産研究センター 愛媛県みかん研究所 南予家畜保健衛生所宇和島支所	
情報	CATV	宇和島ケーブルテレビ FMがいや	

2 周辺市町住民の本市都市機能の利用状況

(1) 医療機関

宇和島病院、吉田病院、津島病院の三つの市立病院が機能分化を図りながら、宇和島市のみならず四国西南地域全体の医療を担っている。

特に、中心となる市立宇和島病院は、南予地方唯一の3次救急医療を行う南予救命救急センターを併設し、命に直結する高度医療を提供することにより、地域完結型の医療を目指すうえで大きく寄与している。

平成26年度市立宇和島病院利用数

市町	人口 H27 国調速報値	入院	外来	計	構成比 (%)
宇和島市	77,473	6,227	178,570	184,797	66.9
鬼北町	10,708	819	19,624	20,443	7.4
松野町	4,068	371	8,228	8,599	3.1
愛南町	21,903	804	16,686	17,490	6.3
(八幡浜市)	(34,963)	(128)	(1,577)	(1,705)	(0.6)
(西予市)	(38,927)	(1,361)	(27,155)	(28,516)	(10.3)
(四万十市)	(34,315)	(161)	(3,303)	(3,464)	(1.3)
(四万十町)	(17,320)	(111)	(2,055)	(2,166)	(0.8)
(その他)		(575)	(8,362)	(8,937)	(3.2)

(2) 教育施設

宇和島市内に高等学校が5校、中等教育学校が1校、圏域唯一の適応指導教室がある。市内に限らず近隣市町からも多数通学している。

(3) 商業施設

宇和島市に出店する大規模小売店舗(店舗面積1,000㎡以上)は19店舗あり、立地特徴は郊外道路型となっている。近隣市町の住民も多く利用している。

(4) 路線バス

民間路線バスは、宇和島自動車株式会社により40路線が運行されている。

このうち16路線が近隣の市町と連絡する広域路線、24路線が宇和島市内完結型の路線である。

大洲・松山方面へは1日40便の運行があり宇和島・松山間を特急バスが最短2時間余りで運行している。また愛南町、宿毛市方面にも1日40便の運行がある。

市内の路線は、宇和島駅前やバスセンターを基点に国道56号を縦軸とし、吉田地域や津島地域の中心部を結ぶほか、市西部の半島部の先端近くまで至っている。三間地域へは、鬼北町や松野町まで至る路線が経由している。

(5) 鉄道

宇和島市内を運行する鉄道路線は四国旅客鉄道(株)による予讃線と予土線の2路線がある。

予讃線は香川県高松駅から愛媛県松山駅を経て宇和島駅に至る鉄道路線(幹線)で、特急列車が1日16本運転されており、宇和島駅から松山駅までの所要時間は約1時間20分である。

予土線は高知県四万十町の若井駅から北宇和島駅に至る鉄道路線(地方交通線)で、愛媛県と高知県を連絡する唯一の鉄道線である。宇和島駅からの発車列車は1日13本で高知県窪川駅までの所要時間は2時間6分となっている。

3 周辺市町と連携することを想定する取り組み

定住自立圏の形成に向けて、近隣市町それぞれの地域が持つ特性や課題を踏まえ総合的なまちづくりを推進し、圏域全体の活性化を通じて定住促進を図るため以下の取り組みを展開していく。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

◇ 地域保健医療体制

ライフステージに応じた健康づくりを支援するとともに、救急医療、高度医療を担う市立宇和島病院と周辺の病院との機能・役割の明確化及び相互の連携強化を図り、包括的な医療システムの確立に努める。

② 福祉

◇ 地域福祉

困難事例や複合的な問題に対応するため、総合的な相談体制の整備や情報提供体制の充実を図り、広域的なネットワークづくりを進める。

◇ 障害者福祉

障害者支援に関する指針の見直しを行うとともに、認定調査の充実、サービスの質の向上、関連施設・機能の整備・確保など、総合的な推進体制の強化を図る。

◇ 高齢者福祉

要介護状態となることを予防するとともに、可能な限り地域において自立した生活ができるよう地域包括支援センターを核に地域支援事業を実施し、地域包括ケア体制を構築する。

◇ 児童福祉

地域子育て支援拠点事業の充実、学童保育やファミリーサポートセンター事業の実施、子育てに関する相談・情報提供の充実など、地域における子育て支援サービスの充実を図る。

③ 教育

◇ 学校教育

園児・児童・生徒数の減少を考慮した教育環境の充実を図るとともに、地域活性化とそのための人材育成を進めるため、圏域教育機関の連携を強化し、教育内容の充実や地域との交流を促進していくほか、大学など新たな高等教育機関の誘致に向けた取り組みを推進する。

◇ 生涯学習

高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に対応するため、様々な分野で行われている学習関連事業を統合・体系化した特色ある学習プログラムの整備を行う。

④ 産業振興

◇ 農林業

環境変化に即した多面的な振興施策を推進し、農業の維持・高度化を進めるとともに、森林の持つ多面的機能の持続的発揮に向け、計画的な森林整備を推進する。

◇ 水産業

安全・安心でおいしい水産物を提供する新たな時代の魅力ある水産業の実現に向けた取り組みを総合的、計画的に推進する。

◇ 商業

広域的な商業中心地としての機能の維持・強化を図るため、商工会議所等関係機関・団体と連携し、商店街の活性化、中心市街地の再生に向けた取り組みを推進する。

◇ 観光

足摺・宇和海国立公園に代表される豊かな自然の魅力を一体化した新たな

な観光ルートを開発するとともに、予土線沿線の連携を強化し、四万十川流域を視野に入れた広域的な集客活動の展開を図る。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

利便性の高い交通手段の導入によって、住民の移動の足を確保するとともに、利用者増加を図り、効率的かつ一体的な交通体系の構築を目指す。

② ICTインフラ整備

住民の安全・安心でより質の高い暮らしの確保と利便性の高い住民サービスの提供を目指すとともに、地域活性化を図るため、ICT環境の充実と利活用を推進する。

③ 道路・交通網の整備

主要幹線道路、県道などの整備促進並びに生活道路などの整備を進め、圏域の発展可能性を高めるとともに、住民の安全性・利便性の向上を図る。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 人材の育成・交流

圏域住民の多様なニーズに対応するため、並びに地域の政策能力や連携を強化するための人材育成や交流を図る。

② 外部からの人材確保

民間企業等経験者や外部の専門的な人材の登用を推進する。

(4) まち・ひと・しごと創生に係る政策分野

各市町が策定した「地方版総合戦略」における移住・定住促進や観光振興をはじめとする各施策の相互調整及び広域連携を推進する。

4 宇和島市への通勤通学割合及び宇和島市と連携する意思を有する市町

市町名	従業・通学者 総数	宇和島市への 通勤通学者数	宇和島市への 通勤通学者数 割合 (%)	昼夜間人口 比率 (%)
鬼北町	4,149	1,231	29.67	96.9
松野町	1,582	421	26.61	86.9
愛南町	8,564	570	6.66	96.9

平成22年国勢調査